

創世1.1.1区(そうせいさんく) 北1西1地区の再開発事業

たからもと ひであき
宝本 英明

民主党・市民連合



問創世1.1.1区は、都心の再生を進めるに当たっての先導的な役割を果たしていくエリアとして、都心の魅力や活力を創成川以東地区へと波及させていくものであり、再開発事業の推進は非常に重要です。再開発事業の検討状況と、今後の進め方について伺います。

答北海道テレビ放送株式会社（HTB）が事業参加をすることで、再開発事業の本格的な検討を進めていくための環境が整いました。今後は、計画の詳細な検討を進めるとともに、都市計画など再開発を進めるのに必要な諸手続きに着手することになっています。まずはじめに、この10月から環境影響評価手続きを開始する予定です。

通学路の安全対策

なかむら
中村 たけし

民主党・市民連合



問登下校中の児童が交通事故で死傷する痛ましい事故の発生を受け、全国各地で、通学路における安全対策への関心が高まっています。本市として、今後、通学路の安全対策に向けて、どのように取り組むのか伺います。

答小学校ごとにスクールゾーン実行委員会が中心となり、地域の実情に応じた通学児童の安全対策を推進してきました。今後も、関係部局や北海道警察と一層の連携・協力をしながら、通学路の安全確保を図っていきます。

先端医療を活用したまちづくり

わくい くにお
涌井 国夫

公明党



問本市には、北海道大学や札幌医科大学など、全国でも有名な医学部があり、高度な研究が進んでいます。こうした最先端の医療技術を、単に研究にとどまらず、地域経済の活性化に結び付けている事例が全国にあります。札幌は観光都市でもあり、先端医療と、食や自然などの魅力とあわせて、メディカルツーリズム（医療観光）などの提案につなげていくことも可能です。

中長期的な観点からまちづくりを進める上では、市内で研究が進む先端医療を活用して、産業振興を図るという視点も重要と考えますが、いかがですか。

答本市でも、先端的な医療分野の研究が行われており、これらの研究成果を活用し、地域経済の活性化に結び付けていくという視点は重要であると認識しています。今後は、市内で進められている先端医療研究について、その優位性や産業化の可能性などについて調査し、その結果を踏まえ、今後の施策を検討したいと考えています。

市議会の動き

9月20日に招集された第3回定例会の中から、9月25日、26日、27日の代表質問の主な内容、10月10日までに議決された議案などについてお知らせします。

10月11日以降の内容は、12月号でお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

新さっぽろ駅周辺のまちづくり

かわた
川田 ただひさ

自民党・市民会議



問新さっぽろ周辺地区の整備は、計画策定から40年が経過し、JR新札幌駅は乗降客数が市内第3位と大勢の市民が利用する施設にもかかわらず、動線が悪いなどの理由から不便な状況です。歩行者動線の確保も含め、新しい時代に対応するまちづくりに向け、当初の「副都心開発基本計画」に替わる、新たなまちづくりの計画が必要と考えますが、いかがですか。

答市営住宅余剰地などの効果的な活用と、地下鉄をはじめとする公共交通の利用促進により、新たな時代にふさわしいまちづくりが展開できると考えます。新たなまちづくりの計画の策定に向けて、準備を進めていきます。

町内会加入促進に向けた取り組み

こたけ ともこ
小竹 知子

自民党・市民会議



問地域で安心・安全に暮らしていく上で、町内会加入率の減少は、大きなマイナス要因です。地域の活性化を図るには、町内会の活動を支える必要があります。今後の、本市の取り組み姿勢について伺います。

答これまで、町内会加入促進のアイデアを盛り込んだ冊子の配布や転入者へ加入の呼びかけをしてきました。今後は、よりインパクトのあるCMの放送、フェイスブックなども活用し、加入促進の支援に取り組みます。